

事業所名

にじいろMARCHE

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

17日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個性を未来へと繋ぐ架け橋となる。 ・専門性を活かし安心を届け社会に貢献する。 ・利他の心をもってお互いの信頼関係を築く。 								
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で自立する力、精神的自立、経済的自立を目指す支援の場を提供。 ・料理や生活の知恵、食交流、食自立、健康づくりなどの知識を楽しみながら学ぶ。 								
営業時間	9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	おやつ作り、昼食作りなど、レシピを見ながら簡単な調理を行うことができる。手洗い、清掃、消毒など、身体や調理器具などを清潔にすることの大切さを学ぶ。お店で買い物をしたり、時間やお金の管理をしたり、基本的な生活スキルを身につける。							
	運動・感覚	公園での遊具を使った遊びやボール運動、トランポリンなど、身体を使って大きく動かす運動で身体的イメージを捉える。調理での包丁を使って細かく切ることや野菜や果物の皮むき、工作ではさみや糊を使った活動を通して、手の巧緻性を養う。材料を手でこねる、伸ばす、ちぎるなどの動作や、味見をする、匂いを嗅ぐなど、五感を使うことで感覚を刺激し豊かにする。							
	認知・行動	種や苗の育て方や食事の栄養、命をいただくことなど、食べることの大切さを認識することができる。材料の測量感覚を養ったり、レシピに沿った工程を順序だてて行う力を身につける。公共の施設などで、他者が気持ちよく過ごせるための立ち振る舞いを身につける。活動ごとにタイマーを使用し、みんなと共同する時間を守る意識を身につける。							
	言語コミュニケーション	作り方の説明や器具の貸し借り、調理の工程などで少人数グループによるコミュニケーションの機会を図る。適切なヘルプサインの出し方を示し、言語やその他の方法で他者とのコミュニケーションをとる方法を身につける。「〇〇先生」など、まずはスタッフの名前を呼ぶことから他者の名前と顔を認識する。							
	人間関係社会性	他者と協力しながら調理活動を行うことで、集団の中での協調性を養う。外出支援で公共施設を訪問し、声の大きさや歩く速さなど、その場に合った立ち振る舞いやマナーを身につける。高齢者の方や地域の方と交流するための催し物の企画したり役割を分担したりすることができる。							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの相談に対する適切な助言等の実施 ・レスパイトケアや就労等の預かりニーズの対応とした延長支援の実施 ・保護者同士の交流の機会の提供 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援サービス事業所からの移行 ・就労準備型放課後等デイサービスへの移行 ・児童館等の利用による他の子どもとの交流 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・フードバンク活動を通じた食品ロス削減を目指す活動 ・『憩いの家』珈琲サロンでの地域交流活動 				職員の質の向上	月に3度、外部講師をお招きして職員力量向上の研修を行っている。			
主な行事等	にじいろフードパントリー、マルシェお弁当屋さん、憩いの家 珈琲サロン								